

第 1 0 3 回
沖縄地方交通審議会
船員部会 議事録

平成 2 9 年 5 月 2 2 日（月）

沖 縄 総 合 事 務 局

第 1 0 3 回 沖 縄 地 方 交 通 審 議 会 船 員 部 会

日 時 平成 2 9 年 5 月 2 2 日 (月) 1 4 時 0 0 分
場 所 沖 縄 総 合 事 務 局 5 F 海 技 試 験 室

出席者：

公 益 委 員	宮里委員、儀部委員、春田委員、上江洲委員
労 働 者 委 員	大崎委員、屋比久委員
使 用 者 委 員	大城委員、山内委員

沖 縄 総 合 事 務 局	大城課長、島袋調整官 宮城補佐、大村係長
---------------	-------------------------

議 事 次 第

○ 開 会

○ 議 事

1. 第 1 0 2 回 船 員 部 会 の 議 事 録 承 認 に つ い て
2. 管 内 の 雇 用 状 況 等 に つ い て
3. 意 見 交 換

○ 閉 会

(配 付 資 料)

1. 第 1 0 2 回 船 員 部 会 の 議 事 録 (案)
2. 船 員 職 業 紹 介 実 績 等 一 覧 表 (平 成 2 9 年 4 月 分)

宮里部会長

定刻でございますので、第１０３回船員部会をはじめさせていただきます。

本日の委員の出席状況と配付資料の確認を事務局よりお願いします。

事務局（大村係長）

本日の出席状況ですが、公益委員４名、労働者委員２名、使用者委員２名が出席されており、船員部会運営規則第９条の規定により定足数を満たし、有効に成立していることをご報告いたします。

事務局（大村係長）

それでは配付資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

宮里部会長

それでは、初めに第１０２回船員部会の議事録の承認について、お諮りします。

お手元に配付されています議事録をご確認ください。

議案のとおり承認してよろしいでしょうか。

各委員

（「はい」）

宮里部会長

では異議なしということで、承認されたものといたします。

続きまして、議事２の「管内の雇用状況等」につきまして、事務局に御説明をお願いします。質問は、最後に受け付けたいと思います。

事務局（宮城補佐）

平成２９年４月分の管内雇用状況等の概要についてご報告いたします。

●求人状況について

新規求人数は１件でした。前月に比べ８件減少、また、前年同月に比べ１３件減少となっております。

月間有効求人数は１１件でした。前月に比べ１５件減少、また前年同月に比べ１５件減少となっております。

月間有効求人数１１件の内訳は、商船等１０件、漁船１件となっております。

月末未済求人数は０件でした。

●求職状況について

新規求職数は５名でした。前月に比べ１２名減少、また、前年同月に比べ２名減少となっております。

新規求職数 5 名の内訳は、商船等 4 名、漁船 1 名となっております。

月間有効求職数は 23 名でした。前月に比べ増減なし、また前年同月に比べても増減なしとなっております。

月間有効求職数 23 名の内訳は、商船等 22 名、漁船 1 名となっております。

月末未済求職数は 8 名でした。

● 成立状況について

4 月は 1 件でした。

● 求人倍率について

3 月の月間有効求人倍率は、0.48 倍でした。前月に比べ 0.65 ポイント減少、また、前年同月に比べ 0.65 ポイント減少となっております。

● 新規求職者の退職理由又は求職理由別内訳について

4 月の新規求職者 5 名のうち離職者 4 名の退職理由は、船舶所有者都合等 3 名、自己都合 1 名、離職以外の方 1 名の求職理由は、就業中に転職を希望する者 1 名となっております。

新規求職者が所属していた会社所在地は、管内が 4 名、外国が 1 名となっております。

● 失業等給付支給内訳について

基本手当の支給はありませんでした。

その他、再就職手当の支給が 1 件あり、再就職手当給付額は 334,368 円円でした。

総支給額は 334,368 円でした

以上で管内雇用等状況の概要の説明を終わります。

宮里部会長

はい、ありがとうございました。では、ただいまの説明について、何かご質問ございますでしょうか。

大崎委員

今回、月末未済求人数がゼロになっていますが時期的なものですか。求人不足の中で、どういう現象とお考えでしょうか。

事務局（宮城補佐）

期限切れや求人が出されたけど取下げられたということで、特定の要因によるものではありません。

大崎委員

わかりました。

それと、2 ページの下段に定年で外国から来られたとありますが、外国の会社ということですか。

事務局（宮城補佐）

そうです。イギリスの会社です。

大崎委員

日本人ですね。

事務局（宮城補佐）

はい、日本人です。

大崎委員

求職は何を求めていますか。

事務局（宮城補佐）

内航貨物船の二航士です
66歳で4級免許をお持ちです。

山内委員

漁船に珍しく求人ありますが、成立しましたか。

事務局（宮城補佐）

まだ成立していません。未経験でも若い方を希望しているため、求職者で漁船希望の方はいますがマッチングがうまくいっていません。

山内委員

はい、わかりました。

宮里部会長

他にございませんでしょうか。

特にないようですので、議事3の「意見交換」に移りたいと思います。何かご意見等ございますか。

大崎委員

先日、部会の名簿をいただきましたが、去年は専門官が出席されていましたが今年はいないのでしょうか。

事務局（宮城補佐）

定員削減で専門官のポストが配置換えになり、今年は労政・係長が出席する形になりました。

大崎委員

事務局の人数が今後も減るとなると、委員も減るのではないかと危惧しています。

あと、もう1点よろしいですか。

沖縄県実習船の代替建造が計画されているようです。その委託業務要領を見たところ、沖縄水産高校の話は出ていますが宮古総合実業高校は一切出ていません。そのような状況で、まもなく委

託事業者が決まるようです。

沖縄の船社20社くらいにアンケートを取るみたいですが、その20社というのが私たちの考えている船社なのか、船のことがあまりわからないでインターネットとかホームページだけで調査したということでは困りますので、可能であれば次の船員部会でこの基礎調査の概要を教えていただければと思います。

よろしくお願いします。

事務局（大城課長）

沖縄県から実習船代替建造の基礎調査等業務委託事業に係る企画審査委員会の委員就任要請が私にあり現在局で手続をしているところです。26日に委員会がありますので船員部会の中で話せる内容か確認して、可能であれば要望に応えたいと思います。

春田委員

基本的な質問ですが、沖縄で船を作ったり修繕したりできる所があるのか教えていただきたいです。

事務局（大城課長）

20トン未満であればFRP船を建造しているところはありませんが、20トン以上の大きな船を扱うところは、今はほとんどが修繕を主としている状態です。

春田委員

どこら辺にありますか。

事務局（大城課長）

20トン以上の船を修繕するところは、糸満市と浦添市に各1社ございます。

春田委員

わかりました。

山内委員

19トンでも中間検査や定期検査で莫大な費用がかかります。いろいろと細かい修繕がたくさんあります。鉄鋼、電機、船体そのもの、そういうふうなことでいろいろな技術者を必要としますが、ほとんど人員が足りていません。泊だけでもマグロ延縄船が集まったら相当いますからね。

大崎委員

船の場合は、結局、収入源を断って修繕に入ることなので、普通の工場とは違い船主は非常に大変です。

宮里部会長

他にないようでしたら、事務局から連絡がありますのでお願いいたします。

事務局（大村係長）

来月の船員部会は、6月15日木曜日の14時から5階海技試験室で開催します。

開催通知につきましては準備が整い次第お送りしますので、出席できない場合は大村のほうまでご連絡をお願いします。

また今回の議事録は作成次第メールで照会させていただきますので、ご確認よろしくをお願いします。

以上です。

宮里部会長

それでは、本日の部会はこれで終了したいと思います。